



## 新潟県はなぜ上が下越で下が上越なの

### 都（京都）に近いほうが上

新潟県はかつて越後国（えちごのくに）といわれていました。この越後国を都（京都）に近いほうから順に、上越・中越・下越の3つの地方に分けていう言い方もありました。都にいちばん近いのが上越で、現在の新潟県南部にあたります。上越地方は、地図で見ると新潟県の下の方になります。

一方、都から最も遠いのが下越で、現在の新潟県の北部にあたります。地図で見ると新潟県の上の方になります。

これらの真ん中にあるのが中越で、現在の新潟県中部にあたります。

都に対して、近いか遠いかで上下が決められていたので、地図で見る上下と、地名でいう上下がちがっているのです。

### 「都に上る」という言い方

江戸時代まで日本の都は京都でしたから、京都に向かって旅をすることを「都に上る」といいました。京都から江戸に旅をするときは、江戸に下るといったのです。現在では、東京が都（首都）ですから、東京に向かって進んで行くのを上京といいます。東京に向かっている列車は上り列車、東京から出て地方に行く列車を下り列車といいます。

（監修・保岡 孝之）

